



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月5日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL http://www.makiya-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 矢部 利久 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	27,653	0.6	198	△3.0	336	0.2	201	5.3
26年3月期第2四半期	27,480	△1.2	204	△32.9	335	△20.1	191	△17.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 319百万円 (30.0%) 26年3月期第2四半期 245百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.15	—
26年3月期第2四半期	19.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	28,384	13,342	47.0	1,336.47
26年3月期	27,972	13,083	46.8	1,310.47

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,342百万円 26年3月期 13,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年3月期	—	7.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△2.5	640	△10.7	900	△7.1	430	△8.3	43.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	10,540,200株	26年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	556,604株	26年3月期	556,604株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	9,983,596株	26年3月期2Q	9,983,596株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融対策の効果により、国内景気や雇用環境は緩やかな回復傾向がみられるものの、海外景気の下振れ懸念や円安の影響による原材料価格の上昇により、依然として不透明な状況となっております。

当小売業界におきましては、「競合店の出店」や「価格競争の激化」に加えて消費税増税や電力料金等のエネルギーコストの値上げによる物価上昇等、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、「品揃え」（きめ細やかな品揃え・品質・味・鮮度）、「価格」（エブリディロープライスのお手頃価格）、「売り方」（品切れ撲滅、買い易い陳列）、「サービス」（明るい挨拶・親切対応）、「クリンリネス」（清潔・メンテナンス）の徹底強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間における店舗政策といたしましては、新業態として「ポテト」と「業務スーパー」を融合させた「マミー業務スーパー」を2店舗開店するとともに、「ポテト」1店舗を「エスポットバラエティ」業態に改装いたしました。

また、公共料金などの支払いを受け付ける収納代行サービスや淹れたてコーヒーを提供するセルフ式コーヒーマシンの導入を開始する等、拡充した商品群でお客様の利便性と多機能型サービスの向上を図っております。

なお、当第2四半期連結会計期間の新規出店等の状況は、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
開 店	業務スーパー与野店 (さいたま市)	平成26年7月	新規開店(当社の埼玉県出店1号店であります。)

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、276億53百万円(前年同期比0.6%増)となりました。「エスポットのフード(食品)部門」「業務スーパー」「生鮮&業務スーパー」は、生鮮食品を中心に引き続き堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。「エスポットのノンフード(非食品)部門」は、消費税増税の駆け込み需要の反動減や夏季の天候不順の影響により季節品販売が低調に推移し、前年同期を下回る結果となりました。「ポテト」につきましては、業態変更のために閉店したポテト三園店(平成25年6月下旬)、ポテト厚原店(平成25年11月下旬)、ポテトひばりが丘店(平成26年5月中旬)や店舗建替えのため休業したポテト松岡店(平成26年6月中旬)の売上減少分があったこと等により、前年同期を下回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、1億98百万円(前年同期比3.0%減)、経常利益は、3億36百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

店舗の販売促進並びにお客様サービスの向上のための店舗投資や新店要員も含めた人員増強による営業経費の増加と、電気料金の値上げによる水道光熱費の増加等により、営業利益は前年同期を下回る結果となりましたが、支払利息の減少等の営業外費用の減少により経常利益は前年同期を上回る結果となりました。

③四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、2億1百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資 産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は283億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億11百万円増加いたしました。

流動資産は70億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億28百万円増加いたしました。これは、商品が3億50百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は213億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億83百万円増加いたしました。これは、システム関連投資により無形固定資産が83百万円、店舗の業態変更による改装等により有形固定資産が74百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は150億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億52百万円増加いたしました。

流動負債は96億47百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億39百万円減少いたしました。これは、短期借入金が増加したものの、買掛金が2億84百万円、未払法人税等が1億79百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は53億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億91百万円増加いたしました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は133億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億59百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して67百万円増加し、12億25百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加が3億52百万円、仕入債務の減少が2億84百万円、法人税等の支払額が2億39百万円等あったものの、減価償却費5億46百万円及び税金等調整前四半期純利益が3億34百万円あったこと等により1億77百万円の収入となり、前年同期と比較して収入が44百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出が4億96百万円あったこと等により4億65百万円の支出となり、前年同期と比較して支出が41百万円増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が7億30百万円、短期借入金の減少が3億50百万円等あったものの、長期借入れによる収入が17億円あったこと等により3億55百万円の収入となり、前年同期と比較して収入が6億71百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が23,658千円減少し、利益剰余金が15,417千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,158,067	1,225,764
売掛金	506,110	353,489
商品	4,673,011	5,023,726
その他	439,630	401,938
貸倒引当金	△385	△288
流動資産合計	6,776,436	7,004,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,375,386	8,423,567
土地	7,080,148	7,080,148
その他(純額)	972,794	998,729
有形固定資産合計	16,428,329	16,502,445
無形固定資産	760,312	844,311
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,652,887	2,601,382
その他	1,369,604	1,446,789
貸倒引当金	△15,013	△15,010
投資その他の資産合計	4,007,478	4,033,161
固定資産合計	21,196,120	21,379,918
資産合計	27,972,556	28,384,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,839,926	4,555,503
短期借入金	2,853,936	3,054,760
未払法人税等	256,591	77,134
賞与引当金	160,713	107,835
役員賞与引当金	7,019	4,679
ポイント引当金	106,844	99,031
その他	1,661,875	1,748,779
流動負債合計	9,886,906	9,647,723
固定負債		
社債	153,500	122,000
長期借入金	2,467,972	2,886,862
退職給付に係る負債	732,930	710,431
役員退職慰労引当金	82,779	87,219
資産除去債務	453,432	460,392
その他	1,111,800	1,127,058
固定負債合計	5,002,415	5,393,962
負債合計	14,889,321	15,041,686

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	10,897,566	11,039,347
自己株式	△446,117	△446,117
株主資本合計	12,733,396	12,875,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	376,976	491,787
退職給付に係る調整累計額	△27,138	△24,101
その他の包括利益累計額合計	349,837	467,685
純資産合計	13,083,234	13,342,863
負債純資産合計	27,972,556	28,384,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	27,480,875	27,653,006
売上原価	21,701,741	21,650,078
売上総利益	5,779,133	6,002,927
販売費及び一般管理費	5,574,239	5,804,240
営業利益	204,893	198,686
営業外収益		
受取利息	485	351
受取配当金	6,628	7,309
受取家賃	215,465	225,566
その他	79,911	63,107
営業外収益合計	302,490	296,334
営業外費用		
支払利息	37,830	31,500
不動産賃貸費用	119,281	121,037
その他	14,724	6,247
営業外費用合計	171,836	158,785
経常利益	335,548	336,236
特別損失		
店舗閉鎖損失	3,516	1,904
特別損失合計	3,516	1,904
税金等調整前四半期純利益	332,031	334,331
法人税、住民税及び事業税	125,413	73,024
法人税等調整額	15,586	60,067
法人税等合計	141,000	133,091
少数株主損益調整前四半期純利益	191,031	201,239
四半期純利益	191,031	201,239

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191,031	201,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,410	114,810
退職給付に係る調整額	—	3,036
その他の包括利益合計	54,410	117,847
四半期包括利益	245,442	319,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,442	319,087
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	332,031	334,331
減価償却費	510,450	546,471
店舗閉鎖損失	3,516	1,904
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△40	△99
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,338	△52,877
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,142	△7,812
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,440	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	5,819
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,270	4,440
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,393	△2,340
受取利息及び受取配当金	△7,114	△7,661
支払利息	37,830	31,500
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	△2,550
売上債権の増減額(△は増加)	14,679	152,620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,853	△352,833
仕入債務の増減額(△は減少)	△237,073	△284,423
未払消費税等の増減額(△は減少)	△149,979	117,899
その他	△39,637	△43,714
小計	497,315	440,674
利息及び配当金の受取額	7,114	7,661
利息の支払額	△39,078	△31,230
法人税等の支払額	△242,578	△239,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,773	177,803
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△456,325	△496,469
投資有価証券の売却による収入	40	3,150
貸付金の回収による収入	5,518	4,301
敷金及び保証金の差入による支出	△46,146	△28,100
敷金及び保証金の回収による収入	83,443	76,604
その他	△10,630	△24,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424,100	△465,404

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	△350,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,006,183	△730,286
社債の償還による支出	△61,500	△31,500
リース債務の返済による支出	△173,880	△158,038
配当金の支払額	△74,876	△74,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316,440	355,297
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△517,767	67,696
現金及び現金同等物の期首残高	1,094,598	1,158,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	576,831	1,225,764

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。